

## 2020 年度

## 授業概要

科目名	地域作業療法学実習Ⅱ			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年 前期
【授業の目的・ねらい】 地域の臨床現場での体験実習を通して、作業療法士として必要とされるコミュニケーションを身につける。								
【実務者経験】 作業療法士として順心リハビリテーション病院及び介護老人保健施設夢前白寿苑にて、身体障害領域での幅広いリハビリテーション業務に従事経験。								
【授業全体の内容の概要】 オリエンテーション、リコルスひめじでのコミュニケーション実習、レクリエーション及び作業活動 教員がフィードバックを行い修正を行う								
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 高齢者及び多職種とのコミュニケーションが適切に行える。 経験したことを表出し臨床実習につなげる。								
回数	講義内容						準備物(教材)	
1	オリエンテーション（授業について、実習にあたっての諸注意等）							
2	実習準備及び実習（コミュニケーション、レクリエーション、作業活動等）							
3	実習準備及び実習（コミュニケーション、レクリエーション、作業活動等）							
4	実習準備及び実習（コミュニケーション、レクリエーション、作業活動等）							
5	実習準備及び実習（コミュニケーション、レクリエーション、作業活動等）							
6	実習準備及び実習（コミュニケーション、レクリエーション、作業活動等）							
7	実習準備及び実習（コミュニケーション、レクリエーション、作業活動等）							
8	実習準備及び実習（コミュニケーション、レクリエーション、作業活動等）							
9	実習準備及び実習（コミュニケーション、レクリエーション、作業活動等）							
10	実習準備及び実習（コミュニケーション、レクリエーション、作業活動等）							
11	実習準備及び実習（コミュニケーション、レクリエーション、作業活動等）							
12	実習準備及び実習（コミュニケーション、レクリエーション、作業活動等）							
13	実習準備及び実習（コミュニケーション、レクリエーション、作業活動等）							
14	実習準備及び実習（コミュニケーション、レクリエーション、作業活動等）							
15	まとめ及び発表							
【使用教科書・教材・参考書】 印刷資料、その他								
【準備学習・時間外学習】 対象者との集団作業療法及び作業活動を計画するにあたり計画や準備が必要。 発表するための資料作成やまとめの準備が必要。								
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は課題の評価を40点、実技試験を60点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。								